

福 議 委 号
平成 2 9 年 1 1 月 2 4 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会
委員長 川 村 明 雄

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会9月会議（平成29年9月15日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	8 第5次福島町総合計画等の変更について
調査期間	平成29年11月8日（1日間）
出席委員	委員長 川 村 明 雄 副委員長 木 村 隆 委員 滝 川 明 子 委員 佐 藤 孝 男 委員 平 野 隆 雄 委員 溝 部 幸 基
欠席委員	な し
委員外議員	な し
出席説明員	町 長 鳴 海 清 春 副 町 長 高 木 壽 教 育 長 前 田 勝 広 総 務 課 長 工 藤 泰 総務課参事 小 鹿 一 彦 企 画 課 長 住 吉 英 之 企画課長補佐 村 田 洋 臣 税 務 課 長 西 田 啓 晃 教育委員会事務局長 鎌 田 一 志
議会事務局職員	事務局長 阿 部 憲 一 次 長 鍋 谷 浩 行 主 査 谷 藤 悟

[委員会意見]

調査事件 8 第 5 次福島町総合計画等の変更について

(平成 29 年 11 月 8 日調査)

本調査は、町が行った第 5 次福島町総合計画「前期実施計画」の平成 29 年度ローリング作業に伴い、実施計画に変更が生じたことから、変更内容等を調査したものであり、その調査結果を以下のとおり報告する。

【論点とした調査項目及び意見】

1. 事業費等に変更が生じた事業について

(1) 道の駅整備調査検討事業

道の駅に関する検討を行うことは理解する。

道の駅のあり方を含めた考えは、今後、2 年間をかけて調査検討業務委託と並行して行われる検討委員会で町民の意見を集約・整理するとしているが、検討にあたっては現在の道の駅の現状をしっかりと把握し、最初に当町における基本的考えを示し、各関係団体（観光協会、工房等）との連携も含めた町内の意向を見極めて慎重に対応されたい。

(2) 人財育成基金事業

これまでの実績を勘案しての積立額の計画変更という説明だが、制度の内容を再度町内へ周知し、有効活用を図っていただきたい。

(3) 生活館等改修事業

10 月 26 日開催の本委員会の調査意見書においても指摘しているが、町内生活館の今後のあり方については吉岡総合センター建設に係る特別委員会において方向性が示されており、本委員会としての考え方は変わっていない。今後、各町内会との協議結果を受けて町の最終的な考えを示すにあたっては、審議の経緯を踏まえて慎重に対処願いたい。

2. 新規に登載となった事業について

(1) 岩部地区ちょっと暮らし住宅整備事業

当事業については、「岩部地区交流センター整備事業」と一体で検討するとしているが、当該地区は情報インフラが整備されていないことから、PR の方向性が限定され、ターゲットを絞った対策が必要と思慮する。

また、当該地区では今後、まちづくり工房によるクルージング事業が計画

されており工房とは協力体制について十分協議のうえ慎重に検討されたい。

なお、これまで当町の観光資源として海側に注目してきたが、当該地区一帯に広がる河川を始めとした自然環境を観光資源として十二分に活用する可能性について検討願いたい。

3. 全体意見

本委員会の資料では、計画が変更・新規掲載されるに至った経緯についての明確な説明が不足していることから、議論する前の確認に時間が割かれるため非効率である。今後、資料の作成、説明にあたっては計画変更に到った経緯を示すよう検討すべきことを指摘する。